

# 学会賞・学術賞 受賞者講演会

■ 日本第四紀学会では、第四紀学の発展に貢献し顕著な業績をあげ、また学会活動に貢献した会員に授与される「学会賞」、第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた会員に授与される「学術賞」を新しく設け、2008年大会において最初の受賞者を決定しました。

■ 受賞者による第2回受賞記念講演会を下記のとおり開催します。非会員の方のご来場も歓迎します。

■ また、同日午後には同じ会場にて日本第四紀学会主催のシンポジウム「地球温暖化と環境防災」が開催されます。あわせてご参加ください。

お問合せ：水野清秀 [産総研] (fax: 029-861-3653 ; k4-mizuno@aist.go.jp)

2009年6月27日 [土] 13:00-14:30 参加費無料 事前登録不要

日本大学文理学部100周年記念国際会議場

東京都世田谷区桜上水3-25-40 京王線 下高井戸駅 徒歩10分

- ・ 13:00~13:05 町田 洋会長 あいさつ
- ・ 13:05~13:45 松島義章氏 (学会賞受賞者)
- ・ 13:45~14:25 横山祐典氏 (学術賞受賞者)



## 完新世における温暖種が示す対馬海流の動向

松島義章氏

横浜国立大学文学部地学科卒、理学博士。相模湾・東京湾を中心に南は九州、北は北海道までの沿岸低地に分布する海成沖積層中の貝化石の群集解析を行う。それをういて約1万年前から以降の、海面上昇による日本列島沿岸の沖積低地の古環境変遷と復元を進めてきた。神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員、放送大学大学院客員教授



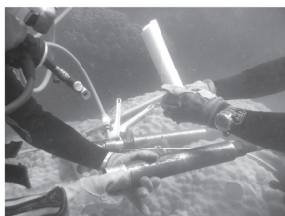
## 南北氷床のふるまいと海水準 — 最終氷期の気候変動との関係 —

横山祐典氏

東京大学海洋研究所・理学系研究科地球惑星科学専攻准教授。オーストラリア国立大学地球科学研究所博士課程修了。PhD。カリフォルニア大学バークレー校宇宙科学研究所等の研究員を歴任。第四紀後期の海水準変動を中心に固体地球と氷床-海洋変動に伴う気候変動などを研究する。研究試料は海洋・湖沼堆積物や氷床コア、サンゴなど多様。国際第四紀学会海洋・沿岸プロセス研究委員会(INQUA CMP) 副委員長、日本学術会議PAGES委員会委員。



タイワンシラトリ (鎌倉産)



海中での柱状試料採取

<同日開催 シンポジウム 14:30~17:30 >

## 【地球温暖化と環境防災】

- ・ 開会の辞・趣旨説明 (陶野郁雄)
- ・ アジアのメガデルタ：海面上昇に支配されたデルタの成立と近年の環境変化 (斎藤文紀)
- ・ 気候変動による東アジアの流域圏水環境の変化 (村上正吾)
- ・ 地球温暖化に伴い増大する水災害リスク (藤田士郎)
- ・ 地盤沈下と高潮水害の脅威—国内外の事例から— (中村裕昭)
- ・ 地球温暖化渦中における異常気象と天候異変：2007年北極海海水の記録的縮小を中心に (山川修治)
- ・ 地球温暖化と日本の気候 (吉田 隆)
- ・ 地球温暖化と気象要素の極値発現 (加藤央之)
- ・ 総合討論